

共同生活援助事業 ライフサポートななさと  
令和7年度 地域連携推進会議 議事録

開催日時 令和8年2月24日（火）AM10時～

参加者：利用者代表（1名）・保護者代表（1名）  
地域代表（鞭区長）・見識者（黒潮町社会福祉協議会事務次長）  
施設長、副施設長、課長（サービス管理責任者）、生活支援員

1、施設見学

○参加者全員で、各ホームを見学してもらう。利用者は事故の影響で途中から見学となる。

2、施設長より

○利用者の安心安全に生活していく事を考えていく等の話がある。

3、参加者の自己紹介

4、地域連携推進会議についての説明

○今年度から義務化となり実施する（別紙 資料1参照）  
・黄色く塗りつぶした所、目的や役割など参加者に説明する

○ライフサポートななさと 令和8年度事業計画書（案）（別紙参照）

- ・事業の概要の（2）、（3）、（4）を説明
- ・2の運営の基本方針
- ・3の具体的な取り組み 1～6を説明
- ・4サービスの内容と課題を説明
- ・5職員の説明
- ・8ページの5地域の交流

5、質疑応答

○サビ管

- ・グループホームの状態や幡多地域に情報提供していることを説明

○施設長

- ・来年度にホームから誠心園に入所予定となっている方が3名いる。来年か再来年には4ホームから3ホームの体制にと考えている。

Q 見識者より人員の確保はどうか？

施設長：難しい状況であることを説明する。

サビ管：ななさとは体調不良の方に対して他のホームに比べると手厚い支援をしている。

施設長：誠心園にも中村のホームから2名の方が清掃業務で来てくれている。

サビ管：中村は軽度の方が多く、夜間専門員であり違った課題がある。

地域や通所先とも連携している。

見識者：ホーム利用者の方が安心はできているが、人員確保が難しいことが感じられる。さりげなく見守ってくれる事はありがたい。

利用者：ミント・タイムに比べて今のホームは買い物が遠くなった。

保護者：自転車もパンクしたりすると取りに来ている。

見識者：事業報告書の5ページの金銭管理については

サビ管：1万円を超える購入については、家庭に了承をもらっている。

保護者：忙しい時に帰らせてもらっているがかまんろうか？

サビ管：仕事場にも相談して田んぼの時期はと了承してもらっている。

サビ管より閉会のあいさつ